



大雨が降ると、田んぼや水路と道の境目が分からなくなってしまうことも!

海面の高さが大きく上昇する「高潮」。満潮と高潮が重なるとさらに被害が大きくなります!

普段穏やかな川でも、という間に水かさが増え、流れが激しくなります。

がけ崩れ・地すべり・土石流などの危険性が! 前兆が現れたらすぐに避難!

雨が降り続けると水が溢れ出し、家が浸水してしまうこともあります!

水害に備えよう!!

台風・大雨・浸水・土砂災害・高潮など

台風や大雨は、地震の発生に比べて、ある程度予想できる気象現象です。だからといって簡単に考えてはいけません。通学路のそばを流れる小川。友達と遊ぶ広場。家族でバーベキューをする川原。普段はなんでもない場所が、台風や突然の大雨で命を落

とす場所が変わることがあります。「まさか!」と思うかもしれませんが、このような自然現象が今までに何度も大きな災害をもたらしています。「自分はだいじょうぶ」と油断せず、日ごろから十分な対策を立てておき、被害を最小限に食い止めましょう。

日ごろの備え

台風や大雨が近づいたとき

避難の心得

- 避難場所を確認しておきましょう。自宅に近い避難場所や、学校近くの避難場所も確かめておきましょう。和歌山市のホームページから確認することができます!
- 住まいの周辺の地形を確かめておきましょう。河川の近くや水はけの悪い場所などでは浸水対策や避難の心構えが必要です。
- 台風や大雨に備えて家の補修をしておきましょう。溝などは流れを良くしておきましょう。

- 外出は控えましょう。テレビやラジオの気象情報に注意しましょう。
- 停電に備えて懐中電灯・携帯ラジオなどを用意しておきましょう。断水に備えて飲料水を確保しておきましょう。
- 避難に備えて持ち出し品を用意しましょう。

- 周りの状況を見きわめて、早めに避難しましょう。外出している人とは早めに連絡をとり、居場所を確かめましょう。
- 避難勧告が出されたときは、自分で判断せず、すみやかに指定された避難場所へ避難しましょう。
- 火の始末や戸締りを確認して避難しましょう。
- 動きやすい服装を選びましょう。持ち物は最小限にしましょう。



市からの避難情報

避難準備・高齢者等避難開始
いつでも避難できるよう準備。身の危険を感じる人、避難に時間を必要とする人は避難開始。

避難勧告
避難場所へ速やかに避難を開始。地下にいる人は速やかに安全な場所へ避難。

避難指示 (緊急)
まだ避難をしていない方はただちに避難。外に出ることによって命の危険がある場合は、家の中のより安全な場所に避難。